医療法人社団浅ノ川
浅ノ川総合病院 広報誌
ASANO CHANNEL

あさのちゃんねる

vol.55
2025年 秋号
（年4回発行）

特 集

365日24時間、万全の体制で対応!
「断らない救急医療」を目指して

連携登録医のご紹介
おくやま内科クリニック

院長 奥山 宏 先生・真理 先生

病院の理念	救急から在宅まで、地域の医療を守り支える病院を目指します。
病院の方針	【地域連携】医療・介護・福祉が一体となった切れ目のない医療サービスを提供し、地域医療の充実に努めます。 【救急医療】断らない救急医療を目指します。 【予防医学】健康診断を推進し、病気の予防・早期発見に努めます。 【チーム医療】患者さん中心のチーム医療を実践し、安全・安心で質の高い医療の提供に努めます。 【人材育成】次代の医療を担う信頼される人材の育成に努めます。

特集

365日24時間、万全の体制で対応！「断らない救急医療」を目指して

突然の体調不良や重篤なケガに対応する救急医療。当院では“断らない救急医療”を基本方針とし、365日24時間体制で救急患者さんを受け入れています。2024年からは人員と設備を拡充し、受け入れ環境をさらに充実させました。救急センター長の松原医師と救急専門の鈴木医師が当院の救急医療をご紹介します。

写真左
病院長補佐／内科部長（循環器）
救急センター長／地域連携部長
松原 隆夫（まつばら たかお）

写真右
内科医長
救急専門
鈴木 大河（すずき たいが）

救急専門医が初期診断、迅速に、適切な治療を行う

当院では“断らない救急医療”を実現するために、救急患者さんの受け入れ環境を充実させてきました。2024年には救急専任看護師を1名から2名に増員し、感染症対策として陰圧隔離ができる第3救急診察室を増設しました。救急診察室が2室から3室になったことで、救急車の同時受け入れが3台まで可能になり、状況に応じてそれ以上の台数を受け入れることもあります。2025年4月からは、診療時間内の救急センターに救急が専門の医師を常勤配置し、よりスピーディな対応ができるようになりました。緊急性のある疾患を得意とする医師が初期診断し、必要に応じて各科の専門医と連携しているため、迅速かつ適切な治療が可能です。診療時間外は内科医と外科医のほか看護師、検査技師、薬剤師、放射線技師が交代で勤務し、他科の専門医は自宅などからオンコールで対応でき、365日24時間体制で質の高い救急医療を提供しています。

救急医療は一次救急（比較的軽症な患者さん）、二次救急（手術や入院が必要な重症の患者さん）、三次救急（二次救急では対応できない重篤な患者さん）に分類されており、当院は二次救急病院に指定されています。基本的に三次救急に該当する患者さんは搬送されてきませんが、救急医療の状況や救急隊の判断によって重篤な患者さんが搬送されることもあり、その場合は救急が専門の医師が大学病院での三次救急の経験を生かして臨機応変に対応しています。医療スタッフ、設備ともに万全の救急医療体制を整えることで、ここ

数年、当院の救急車の受け入れ台数は増加しており（図1参照）、地域の救急医療を支えていると自負しています。

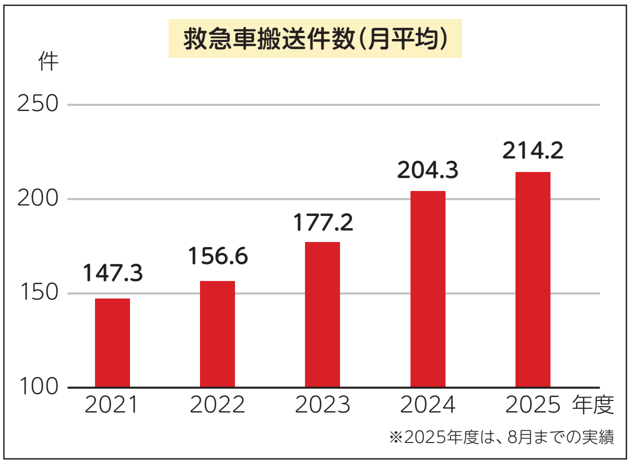


図1　浅ノ川総合病院の救急車搬送件数（月平均）

脳神経センターと連携し、一刻を争う脳卒中に対応

搬送されてくる患者さんの症例はさまざまですが、誤嚥性肺炎、脳梗塞、骨折が多く、そのほかに感染症や重篤な外傷などがあります。院内にてんかんセンターがあるため、てんかん発作の患者さんも受け入れています。それぞれに緊急の対応が必要ですが、特に脳卒中は時間との勝負で、脳出血は時間の経過とともに症状が進行しますし、脳梗塞は時間の経過によって治療法が異なります。当院では脳神経センターと連携することで、専門的な治療が可能です。薬剤を使って内科的治療を行うのか、外科的治療が必要なのか。救急が専門の医師が初期診断を行い、脳神経内科医や脳神経外科医に引き継ぐことで迅速に最善の治療を行うことができ、生命予後の向上や後遺症の軽減につなげています。

緊急処置が必要な急性心筋梗塞や大動脈解離などの循環器疾患は、通常循環器チームのある施設に救急搬送されますが、初期診断が難しい場合も多く、当院に搬送される場合があります。当院は循環器専門施設と常時連携しており、確定診断がついた時点で速やかに救急転送するシステムが確立されています。

救急医療のチーム力を上げる！救急隊とも連携強化

救急医療チームには医師や看護師など多くの医療スタッフが関わっています。月に1度、情報交換のために運営委員会を開催し、救急搬送を断らざるを得なかったケースについて話し合っています。症例の背景を考察し、ひとつずつ課題を解決することで、“断らない救急医療”の体制を進化させています。

救急医療チームがスムーズに連携をとるためには普段から職種の枠を超えて情報交換し、チーム力を上げることも大切です。仕事上での情報交換はもちろんですが、何気ない会話や食事会などをすることでも、それぞれの人となりや価値観が理解でき、チームの結束力につながっていきます。また、当院では研修医も救急医療チームに参加していますが、見習いのようなポジションではなく、医師として戦力になるよう指導しています。

2025年4月から救急センター長が地域連携部長を兼任しており、地域の救急隊とも連携を強めています。月に1度、各消防署の救急隊と顔を合わせて要望や意見を聞き、年に1度は近隣エリアの救急隊を招いて症例検討会を実施しています。地域のクリニックや福祉施設とコミュニケーションを密にする地域医療連携室と救急センターが連携することで、かかりつけ医の紹介状など患者さんの情報を医師へスムーズに伝達できています。

急な体調不良を防ぐため、日々の健康管理を大切に！

緊急時には躊躇せず、救急センターをご利用いただきたいと考えていますが、地域のみなさんには救急医療が必要ないほど健康な毎日を過ごしていただくことが理想です。救急対応が必要になる前に、日常生活で体調に異変を感じたら、早めにかかりつけ医などを受診してください。救急センターで診ることが多い脳卒中は日々の健康管理によって防ぐことができる病気です。バランスの良い食事をする、体力に合った適度な運動をする、飲酒はほどほどにする、禁煙をするなど、少しずつでも健康に良いことをはじめましょう。当院では地域に出向く出前講演や、毎年秋開催の病院祭で健康や病気をテーマにした講演を行っていますので、ぜひご参加ください。一人ひとりが健康を維持することは、みなさんの自分らしい生活のベースになるはずですし、日本の医療制度を守ることにもつながっています。

感染対策トピックス ～第3弾　疥癬（かいせん）について～

こんにちは！感染対策室です！このコーナーでは、感染対策に関するトピックスを年4回お伝えしています。第3弾は「**疥癬（かいせん）**」についてです。

耳慣れない病名かもしれませんが、病院や高齢者施設などで集団発生することがあり、家庭でもうつることがあります。正しい知識を持つことで、早めの対応と感染拡大防止につながります。

疥癬とは？

疥癬は「ヒゼンダニ」という小さなダニが皮膚の角質層にもぐり込んで繁殖することで起こる感染症です。肉眼では見えませんが、皮膚にトンネルのような通り道を作り、強いかゆみを引き起こします。特に夜にかゆみが強くなるのが特徴です。

症状の特徴

- 夜になるとかゆみが強くなる
- 指の間、手首、わきの下、腹部、太ももなどにブツブツした発疹
- かきむしると湿疹や二次感染を起こすことも

特に「**かゆみが家族や周囲にも拡がっている**」ときには疥癬を疑う必要があります。
湿疹や水虫と間違われやすいため、**自己判断せずに**早めに医療機関を受診しましょう。

感染経路

疥癬は**「人から人へ」**うつります。

直接の皮膚接触　握手や介護などで皮膚が触れることで感染
間接的な接触　衣服、シーツ、タオルなどを介して感染することも
→ そのため、高齢者施設や病院など「人と接触する機会が多い場所」で拡がりやすい感染症です。

かかりやすい人・場所　高齢者施設に入居している方、入院患者さん、家族内で長時間過ごす方々
→ 特に高齢者や免疫力が低下している方は、症状が強く出たり、集団感染につながることもあるため注意が必要です。

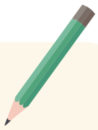
疥癬セルフチェックリスト ☑

- ☐ 夜になると強いかゆみが出る
- ☐ 指の間や手首、わきの下、腹、太ももなどにブツブツがある
- ☐ 家族や同居している人にも似た症状が出ている
- ☐ 湿疹や水虫の薬を使っても良くならない

いくつか当てはまる場合は疥癬の可能性があるため、早めに皮膚科を受診しましょう。

診断と治療

疥癬は皮膚科で診断します。発疹部位の皮膚を少し取り、顕微鏡でダニや卵を確認することで確定します。治療は、ダニを退治するための塗り薬（イベルメクチンクリームなど）や内服薬（イベルメクチン錠など）を使用します。かゆみ止めも併用されることがあります。重要なのは、**家族や同居者、施設の入居者も同時に治療すること**です。本人だけが治療しても、**周囲にダニが残っていれば再感染**してしまいます。



感染を拡げないための生活チェックリスト ☑

- ☐ タオルや衣類を家族と共有していない
- ☐ シーツや衣類は50℃以上のお湯で洗濯している
- ☐ 布団やカーペットは定期的に掃除機をかけている
- ☐ かゆみがある人は医師に相談している
- ☐ 家族に同じ症状がある場合、一緒に治療を受けている

まとめ

疥癬は「ちょっとかゆい皮膚の病気」と思われがちですが、放っておくと家族や施設で拡がる感染症です。正しく診断し、きちんと治療すれば治る病気ですので、かゆみが続く場合は早めに受診しましょう。「かゆみが拡がっている」「家族も同じ症状がある」そんな時は、疥癬を疑ってください。感染を防ぐには、みんなで一緒に対策することが大切です。

参考：厚生労働省「疥癬について」／国立感染症研究所「疥癬とは」

連携登録医のご紹介

院長 **奥山 宏** 先生・**真理** 先生

今回は、河北郡津幡町の『おくやま内科クリニック』を紹介いたします。

2025年8月1日に津幡町でおくやま内科クリニックを開院しました奥山宏と申します。当クリニックは内科医の妻との2人体制で診療しており、内科全般およびそれぞれの専門性を活かして診療を行っております。

私は2015年から10年間、浅ノ川総合病院 腎臓内科で勤務させて頂き、透析を含めた腎疾患全般を診療しておりました。又、妻は富山県内の病院で糖尿病を中心とした生活習慣病を診療しておりました。

今回、津幡町で開院しましたが、これまでの経験を活かし浅ノ川総合病院と連携させて頂きながら、地域の皆さまの健康管理のパートナーとして、安心して何でも相談できるかかりつけ医を目指しております。今後とも宜しくお願い致します。

クリニック外観

おくやま内科クリニック

診療科：内科 / 腎臓内科 / 糖尿病内科 / 女性内科

奥山　宏（写真右）

経　　歴：1996年金沢医科大学卒業
1996年金沢医科大学病院研修医
1998年金沢医科大学腎臓内科入局
2002年浅ノ川総合病院腎臓内科医長
2015年浅ノ川総合病院腎臓内科部長・透析センター長
2025年おくやま内科クリニック開院

資　　格：日本内科学会　総合内科専門医
日本腎臓学会　腎臓専門医　腎臓指導医
日本透析医学会　透析専門医

奥山　真理（写真左）

経　　歴：1996年金沢医科大学卒業
1996年金沢医科大学病院研修医
1998年金沢医科大学内分泌内科入局
2003年医学博士　学位取得
2004年医療法人財団恵仁会藤木病院内科

資　　格：医学博士
日本内科学会　総合内科専門医
日本糖尿病学会　糖尿病専門医
日本糖尿病学会糖尿病認定医
日本医師会認定産業医

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	／
14:00～18:00	○	○	○	／	○	／	／

休診日：日曜日、祝日、木曜午後、土曜午後

住　　所：〒929-0342
河北郡津幡町北中条2丁目31番地
電　　話：076-252-0471
駐 車 場：18台
アクセス：津幡駅から徒歩約12分

連携登録医とは

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。

イベントレポート 病院祭2025を開催しました!

10月11日(土)に毎年恒例となる秋の地域交流イベント「病院祭2025」を開催しました。

当日は530名を超える来場者を賜りました。ミニキッザニアでは約170名のお子さんたちが職場体験を真剣なまなざしで臨んだほか、講演やコンサートも満員御礼。プロによるマジックショーでは観客を巻き込んだ手品もあり大盛り上がり。キッチンカーも完売の所がでるなど、大盛況でした。ご来場された皆さん、ありがとうございました。これからも地域の皆様と交流できるイベントを企画していきますので、どうぞご期待ください。

ミニキッザニア大人気!

満員御礼♪
オータムコンサート

冴木ゆう
マジックショー

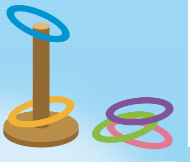
大薔薇屋による寸劇

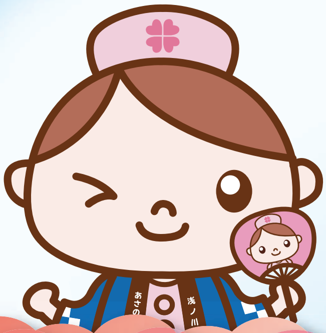
水引ワークショップ
大人も子供も夢中に作成

大人気の
無料ソフトクリーム

あさのちゃんも出動♪

院内医師による
特別講演





ご来場ありがとうございました
また来年もご期待ください！

☆ 冬の健康応援キャンペーン ☆

日帰り人間ドック《期間限定15%OFF》のご案内

＼この冬、自分へのご褒美に健康診断を！／

新年の始まりに、カラダをリセットしませんか？ 割引期間を利用して、お得に安心を手に入れましょう！

なぜ健康診断が大切なの？

健康診断は、自覚症状のない病気のサインを見つけ、早期発見・早期治療につなげるための最も重要な一歩です。自分の健康状態を正確に把握し、安心して毎日を送るために、年に一度の受診をおすすめします。この機会にぜひ、当院の日帰り人間ドックをご利用ください。

割引実施期間 令和8年1月5日（月）～令和8年3月31日（火）

※すでに上記の期間でご予約されている方も、自動的に割引後の料金が適用されますのでご安心ください。

キャンペーン内容 **個人でお申込み**の方に限り、日帰り人間ドックの料金を**15%割引**いたします。

※お勤め先や市町村からの補助制度をご利用の場合は、この割引の対象外となります。

対象コース

料金	日帰り人間ドック　Aコース	通常 25,400 円 → 21,590 円（3,810 円割引）※税込
	日帰り人間ドック　Bコース	通常 38,500 円 → 32,725 円（5,775 円割引）※税込

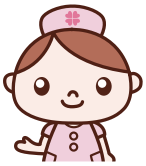
割引率 15%

※コース詳細（検査項目）はホームページをご参照ください。

ご予約・お問い合わせ 浅ノ川総合病院 健診センター　TEL 076-203-8050（健診ご予約専用ダイヤル）

新任医師紹介

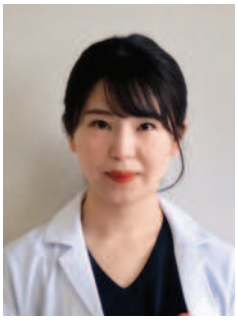
新しく赴任された医師を紹介します！



内科 森（もり） 貴久（たかひさ）

このたび新しく着任しました森と申します。地域の皆様に寄り添った医療を提供できるように努めて参ります。よろしくお願いいたします。

専門分野／消化器内科



腎臓内科 喜多（きた） 芹菜（せりな）

地域の皆様に信頼される医療を提供できるよう努めて参ります。よろしくお願いいたします。

専門分野／腎臓内科

お知らせ

年末年始休診のお知らせ

令和7年12月29日（月）午後～令和8年1月4日（日）まで、年末年始のため外来診療を休診いたします。
（救急の場合は救急外来で対応します）

お問い合わせ先
広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。
TEL：076-252-2101（代）　URL：https://www.asanogawa-gh.or.jp/
メールアドレス：kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp
浅ノ川総合病院 公式サイト　X(旧 Twitter)　Instagram

あさのちゃんねる vol.55
発行／編集　医療法人社団浅ノ川　浅ノ川総合病院　広報室　〒920-8621 石川県金沢市小坂町中83番地　TEL：076-252-2101